

環境振動シンポジウム検討WG 第3回議事録（案）

A. 日 時 2016年11月1日 火曜日 10:00～12:00

B. 場 所 建築学会 304会議室

C. 出席者

富田主査	○	増田幹事	記録	石川	◎	伊積		国松	○	小谷	
志村		田中		濱本		藤橋		益田		松本	○
峰村		横島		横山	○	(オプザバー)		野口			

◎ : skype参加 敬称略 50音順 (主査・幹事を除く)

D. 提出資料 (提出委員名)

No.3-0 環境振動シンポジウム検討WG 第3回議事次第

No.3-1 環境振動シンポジウム検討WG 第2回議事録 (案)

No.3-2 調査研究員会主催催し物 実施計画書

No.3-3 原稿依頼 (案)

E. 議事内容

1. 前回議事録の確認 (資料 No.3-1)

出席者 : 峰村→峯村に修正

4. 鈴木雅博→鈴木雅靖

歩行動→歩行振動 (2箇所)

上記の修正をもって前回議事録は承認された。

2. 原稿依頼 (案) について (資料 No.3-3)

フォーマットとして昨年度の原稿をお送りする。

締め切り 12/16 12/21 まで差し替え可能

主旨文 12/22 締切

3. 内容打ち合わせ

シンポジウムの講演内容を確認

1. はじめに

これまでの経緯, ながれを説明する

2. 環境振動設計の考え方

性能マトリクスの説明, 縦軸 (評価), 横軸 (設計) の説明

縦軸の決め方 (方針)

再現期間, 頻度で考える。風は1年, 歩行は1日 (週, 月?), 交通も同様
非定常性の考え方を説明する。

斜め軸の設定 (性能設計の中では重要)

+10~15分程度が必要ではないか? → 時間配分を変更する

3. 評価軸の概要

3.1 風振動

評価軸の概要 (アカデミックベース)

風の場合、定常に限定。不快、不安などの表現もある。
定常、非定常の表現はどうか？ 英語にしたときを考えたほうがよい。
言葉は今後検討する。
シンポジウムでは定常的、非定常的と表現する。波形を示して説明する。

3.2 歩行振動

評価軸の概要（評価時間の内容）

用途をどうするか？

1 イベントの考え方

定常振動としては設備機器の振動が考えられる

1991, 2004 の線との関係についても触れる。

3.3 交通振動

鉛直と水平をどうすり合わせていくかという話

WG での進捗を踏まえて説明する。

波形パターンを提示する必要がある。

4. 外力軸と設計の概要

4.1 風振動

WG にて原稿を検討する

4.2 歩行振動

資料に基づいて説明。

継続時間の評価が必要。

検討例なので継続時間を決め打ちして例を示せばよい。

継続時間の影響を略算値で示した方がよい。

縦軸は一人歩行, 二人歩行→頻度を入れて説明する。→2. で説明

4.3 交通振動

縦軸をどう決めていいか, 物理量と大, 中, 小の関係が悩ましい。

敷地境界での値とする。頻度は日単位

戸建て WG の観測例をプロットすることができる。

計測することを前提として設計例を話す予定である。

PD は議題を後日送付する。

以上